(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 24日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡大淀町馬佐817

氏 名 株式会社 山食 代表取締役社長 山口敦史

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0746-32-1135

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事業場の名称	株式会社 山食
	事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町馬佐817
	計 画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該	亥事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
	① 事業の種類	食品製造業
	② 事業の規模	売上額 48億3962万円
	③ 従 業 員 数	209人
	④ 産 業 廃 棄 物 の 一連の処理の工程	(排水処理) 汚泥 → 再生利用業者に委託し、動植物性残渣と混合し有機肥料の 原料として再資源化する。 燃え殻 → 最終処分業者に委託し、埋立処分する。 建設混合廃棄物 → 最終処分業者に委託し、破砕処分する。

(日本産業規格 A列4番)

	!に係る管理体制に関する事	項			
(管理体制図					
専務取締役					
工場長					
↓ 環境管理部					
産業廃棄物の排出	の抑制に関する事項				
		年度) 実績】			
	産業廃棄物の種	類 汚泥		燃え殻	
	排出	量 850.2	t	7.3	t
	産業廃棄物の種	類動植物性残	き査	建設混合廃棄物	
①現状	排出出	量 457.5	t	7. 37	1
	【目標】				
	産業廃棄物の種	類 汚泥		燃え殻	
	排出	量 500	t	10	4
					,
1	産業廃棄物の種	類 汚泥		燃え殻	'
②計画	産業廃棄物の種	類 汚泥 量 300	t	燃え殻	
②計画	排 出 (今後実施する予定	量 300			t
	排 出 (今後実施する予定 引き続き、再生利用 組む。	量 300			t
業廃棄物の分別	排 出 (今後実施する予定 引き続き、再生利用 組む。	量 300	肥料の原料	斗及び再資源化!	t
	排 出 (今後実施する予定引き続き、再生利用組む。 に関する事項 (分別している産業	量 300 この取組) 日業者に委託し、有機	肥料の原料	斗及び再資源化に 3取組)	1
業廃棄物の分別	排 出 (今後実施する予定引き続き、再生利用組む。) に関する事項 (分別している産業汚泥・燃え殻・動植	量 300 ごの取組) 日業者に委託し、有機 を廃棄物の種類及び分	別に関する	斗及び再資源化に る取組) R管している。	t
産業廃棄物の分別	排 出 (今後実施する予定引き続き、再生利用組む。) に関する事項 (分別している産業汚泥・燃え殻・動植	量 300 この取組) 日業者に委託し、有機 を廃棄物の種類及び分 重物性残渣はそれぞれ	別に関する	斗及び再資源化に る取組) R管している。	t t こ取り

自身	っ行う産業廃棄物の再	写生利用に関する事項		
【前年度(5年度)実績】				
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	1)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組	且)	
自己	<u> </u> っ行う産業廃棄物の「	┃ ┝間処理に関する事項		
		【前年度(5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った	t	t
	0.44.10	産業廃棄物の量	t	t
	①現状	産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)		· ·
		(これ)よく(こ天旭 した収配	1.)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組	E)	

自己	っ行う産業廃棄物の埋	型立処分又は海洋投入処分	に関する事項			
		【前年度(5年度	三) 実績】			
		産業廃棄物の種類				
	①現状	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量		t		t
		(これまでに実施した取	(組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t		t
		(今後実施する予定の取	組)			
産業	英廃棄物の処理の委託	に関する事項				
		【前年度(5年度	芝)実績 】		<u> </u>	
		産業廃棄物の種類	汚泥		燃え殻	
		全処理委託量	850. 2	t	7. 3	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	7.3	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	850. 2	t		t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣		建設混合廃棄物	
	①現状	全処理委託量	457. 8	t	7. 37	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	7. 37	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	457.8	t		t
		認定熱回収業者への処理 委託 量		t		t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
		(これまでに実施した取		^ 1		
		〈汚泥・動植物性残渣〉 再資源化に取り組む。	再生利用業者に委託 サイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	íl,	有機肥料の原料とし	~(
		〈燃え殻〉最終処分業者 〈建設混合廃棄物〉最終				

(第5面)

	一	則 /			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥		燃え殻	
	全処理委託量	500	t	10	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量		t	10	t
	再生利用業者への 処理委託量	500	t		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	産業廃棄物の種類	動植物性残治	蜇	建設混合廃棄	棄物
②計画	全処理委託量	300	t		t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量		t		t
	再生利用業者への 処理委託量	300	t		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	(今後実施する予定の取 余剰汚泥の脱水後の水分 の効率化を図る。		指し、	有機肥料の原料	として
 《事務処理欄					